

建築

動画で
CHECK!



公共建築課 村瀬 美紀

Q 現在の仕事内容とやりがいを教えてください。

公共建築物の新築や改修に係る設計・施工・工事監理の監督業務を行っています。建物を管理する各部署からの要望を元に設計事務所等に業務を発注し、設計や工事が滞りなく進むように技術的な面でサポートしています。今の仕事は設計にも施工にも関わることができ、建物ができていく過程に携われるところに魅力があります。工事を進めていく間には、要望や質疑等、工事関係者との様々な調整が必要です。その様なやりとりを通して建物をより良いものにしていくためにどうするかを考え、それが形になっていくことにやりがいを感じています。

Q 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

入庁して様々な仕事があることに驚きました。施設の管理や新築・改修に係ることはもちろん、建築に関する法令に基づく許認可業務、耐震改修や高性能な住宅の新築等を奨励する補助金制度の運用など、部署ごとに建築分野の全く違う一面を知ることができます。どの部署も相談しやすい職場環境ですし、仕事内容が変わることで常に新鮮な気持ちで業務に取り組むことができます。



配属歴

H28年 採用 岐阜・西濃建築事務所
H30年 住宅課
R 3年 東濃建築事務所
R 5年 現所属

電気

Q 現在の仕事内容とやりがいを教えてください。

県営水道施設の維持管理に必要となる電気設備や機械設備の施設整備計画の作成、工事の発注及び監督業務を担当しています。この他、大規模災害に備えた管路の整備や老朽化した管路の更新工事などを行っています。重要な社会インフラである水道事業を継続していくためには、水道施設の老朽化対策などの課題に対して様々な知識・技術を駆使しながら解決していく必要があります。将来にわたり持続可能な水道事業を目指し、技術職員として取り組むことができるこの仕事にやりがいを感じています。

Q 働く環境についてはどう思われますか。

水道施設の維持管理には、電気分野だけでなく、管路を修繕する土木分野、ポンプ設備を更新する機械分野など幅広い分野の業務があります。現在は、土木・農業土木・機械・化学など、電気職以外の技術職員と一緒に仕事をしています。水道施設の維持管理には、電気以外の知識を必要とする場面が多々ありますが、他分野の技術職員から専門的なアドバイスを受けられる環境にあり、幅広い知識を学ぶことのできる貴重な職場だと感じています。



配属歴

H24年 採用 東部広域水道事務所 H30年 東部広域水道事務所
H26年 水道企業課 H31年 水道企業課
H28年 水資源課 R 3年 現所属

試験研究

Q 現在の仕事内容とやりがいを教えてください。

食品加工に関わる企業の支援を行っています。食品中の異物検査や、栄養成分、微生物の検査などのいわゆる品質管理と呼ばれるものから商品開発など、様々な相談に対して試験や研究などを行うことにより食品産業の発展に貢献する仕事です。岐阜県の食品産業は寒天や日本酒、米菓など原料から加工まで様々な企業によって支えられています。相談内容も多岐にわたるので初めてのこともたくさんありますが、一緒に悩みながらも課題を解決できたときに「ありがとう。」と言ってもらえると、微力でも産業の発展に貢献できているのかなとうれしくなります。食品加工の現場に近い場所で働くことができることに、やりがいを感じています。

Q 一番印象に残っている仕事を教えてください。

初めて新商品の開発から発売まで支援したことです。色々な課題がありましたが、相談者と四苦八苦しながらもひとつずつ課題を解決し、無事商品化できたことで自信になりました。コロナ禍の苦しいときだからこそ新商品を開発したいという相談者の前向きな姿勢も印象に残っています。



配属歴

H28年 採用 産業技術センター
H31年 現所属

司書

▶▶ 図書館 田中 崇文

Q 現在の仕事内容と一番印象に残っている仕事を教えてください。

主に県内公共図書館などの支援業務を担当しています。他館の運営状況を把握し、情報交換や情報提供を行う中、時には相談を受けることもあります。また、ビジネス支援サービス業務も担当しており、各業種の関係団体と連携した事業開催や関連する図書を紹介することで、利用者の課題解決の支援にも取り組んでいます。一番印象に残っている仕事は、コロナ禍での学校図書館勤務のときに、長期休校等により、生徒の図書館を利用する機会が減少したため図書館PRに力を入れたことです。図書館だよりの発行はもちろん、教員・図書委員と協力し、オススメ本の展示・POP作成、「本の福袋」等イベントを開催するなど、とてもやりがいのある仕事でした。

Q 岐阜県の技術(専門)職員として働く魅力を教えてください。

多種多様な仕事を体験できることです。学校図書館では、本の貸出・返却以外にも、所蔵する資料の選書業務や、図書委員会の運営等があります。岐阜県図書館では、本の貸出・返却や選書業務のほか、「ブックトーク」等イベントの企画運営業務も担当しています。様々な仕事を体験することは必ず自身の力になります。現在も新しい仕事に積極的に関わっていくようにしています。



配属歴

H30年 採用 図書館
R 2年 益田清風高等学校
R 4年 現所属

管理栄養士

▶▶ 恵那保健所 後藤 茉由

Q 現在の仕事内容とやりがいを教えてください。

給食施設の栄養管理状況を把握し、喫食者の特性に合わせた食事が提供されるよう指導を行っています。また、食品関連事業者が適正な食品表示をすることができるよう、食品表示の相談指導を行っています。民間企業と連携し、県民の健康をサポートできるよう、栄養バランスの整ったお弁当の開発を行うこともあります。県民の約7割は、野菜摂取不足であり、かつ食塩を過剰に摂取している状況です。「たっぷり野菜 しっかり減塩」をキーワードに企業や商業施設等で普及啓発を実施する際に、呼びかけだけでなく、1日に必要な野菜量の計量体験や、食品に含まれる食塩量の展示を行うなど、分かりやすく伝えるための取組を考えているときにやりがいを感じています。

Q 岐阜県の技術(専門)職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県は広大な県土を有しているため、県の中でも地域によって生活環境や食習慣は様々です。県民栄養調査等の結果から、管理栄養士として専門的な視点で管轄地域の食課題を分析し、改善するための取組を主体的に企画することができるのが岐阜県の管理栄養士として働く魅力だと考えます。



配属歴

H29年 採用 岐阜保健所
H31年 生活衛生課
R 4年 現所属

市町村立小中学校等事務職員

▶▶ 笠松町立松枝小学校 入野 恵美

Q 市町村立小中学校等事務職員として働く魅力を教えてください。

小中学校等事務職員には魅力が溢れています。中でも教育現場で勤務できるところが一番の魅力です。自分の仕事が目前で生活する児童・生徒に直接繋がるので、とてもやりがいがあります。また、児童・生徒と関わる機会も多く、学校運営に参画しながら学校全体を支えている実感を持つことができます。

Q 働く環境についてはどう思われますか。

小中学校等事務職員の多くは各校一人で勤務していますが、とても相談しやすい環境で働いていると感じます。業務をする上で困ったことや一人で解決し難いことがあったとしても、定期的に事務職員同士で質問事項を相談する機会が設けられていたり、学校内でも気軽に管理職(校長・教頭等)に尋ねたりすることができ、協力して解決することができます。学校の事務職員として働く前は、学校の職員室で孤独に事務作業をするイメージを持っていました。しかし実際に働いてみると、毎日職員と話し、子どもたちと直接関わることができる機会が多かったです。また、保護者や地域の方々との関わりもあり、この仕事を通して幅広い繋がりを持つことができます。



配属歴

R 2年 採用 海津市立海西小学校
R 5年 現所属